

相談支援班からのおたよりです

令和4年7月5日発行

支援連携グループ相談支援班



あちらこちらの花壇に、ヒマワリがすくすくと育っています。真夏の青空に向かって咲く大きなヒマワリの花。楽しみです。ヒマワリの原産地はアメリカですが、1510年、スペイン人がヒマワリの種をヨーロッパに持ち帰り栽培、17世紀にフランスからロシアへと渡りました。当時、ロシア正教会は大齋の40日間、食べてはいけないものを決め、特に、ほとんどの油脂食品が禁止されました。ヒマワリは教会の法学者たちに知られていなかったのか、禁止リストになく、教会法に矛盾することなく油脂を多く含むヒマワリの種を食べていたそうです。夏の景色の中に存在するヒマワリにも、ちょっと調べてみると壮大な歴史があることがわかります。小さなことにも興味を持って調べてみると、思わぬ発見があると思います。もうすぐ始まる夏休み、いつもと違った視点で過ごしてみてもいいかもしれません。



6月の相談支援班

6月は地域（横須賀市・三浦市）の中学校7校での巡回相談がありました。コミュニケーションのこと、進路のこと、障害特性のこと、姿勢のこと、SST（※ソーシャルスキルトレーニング）のことなど、相談内容は多岐にわたりました。

1年生はようやく中学校の生活に慣れ始めたところで、小学生から中学生になった節目に、少しお姉さんお兄さんになった生徒と、まだ小学生の気分が抜けきらない生徒が混在している様子がうかがえました。そのような中で、どの中学校も、先生方は様々な工夫をし、充実した学校生活になるよう努力されていました。

私たちからの助言は、特別支援学校が持つノウハウをお伝えすることですが、一番のハードルは、中学校の学習集団の生徒数の多さです。個別に指導・支援することの難しさが中学校にはあります。いかに大きな集団の中で個を支援するかについて先生方とすり合わせ、より良い解決の道を探っていきます。提案させていただいた支援の方法が、一つでも多く取り入れられ、生徒たちの成長に役立っていただければ……そんな思いでいっぱいです。

SST(ソーシャルスキルトレーニング)とは？

社会で人と人がかかわりながら生きていくために欠かせないスキルを身に付けるトレーニングのことです。学校生活だけでなく、家庭での過ごし方も大きくかわる大切な取り組みです。卒業後の生活はそれぞれですから、必要なスキルは人によって異なる面もあります。でも、社会参加をしていくうえで、あいさつや返事を基本としたコミュニケーション力は、しっかりと身につけておきたいことです。朝、「おはよう」と家族に言葉をかけますか？食事の前には「いただきます」と言っていますか？そんな小さなことから始めましょう。